

【大会運営における感染予防のガイドライン】

大会参加者の共通予防対策

1. 大会参加について

- 選手、監督、コーチ、運営スタッフ等（以下、大会参加者とする）の中に感染者が確認された組織については、大会へ参加することはできない。
- 大会参加者は、大会の2週間前から検温結果及び、体調について別紙の体調管理表に記録し、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加できないことを事前に周知する。体調管理表は徳島県自転車競技連盟事務局が保管する。
- 発熱の症状等がある場合や、非接触型体温計等を使用して検温し、**37.5℃以上の熱がある場合は入場できない。**
- 大会参加者は、大会の2週間後まで検温結果及び、体調について別紙の体調管理表に記録し、顧問が代表して保管する。

2. 感染予防のための4つの基本行動

- 体調管理とその報告
- マスクの着用
- 人と人との距離を確保
- こまめな手洗い、手指消毒

大会開催中の予防対策について

選手、監督、コーチの感染予防対策

(1) 集合時の感染予防対策

- 大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。
- 大会参加者は、施設に出入りする際、手指の消毒をする。
- 大会参加者は集合時に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。
- 選手個人での受付はなるべくせず、監督が代表して行う。
- 受付時に、大会当日、体調チェックシートを提出する。

(2) 大会当日、生徒に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応

- 発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。
- 当日、急に症状が出た場合、競技途中であっても帰宅させる。
- 体調不良の選手の健康状況については、選手本人から管理責任者に報告し、管理責任者は大会運営に支障がある場合には、その結果を審判長に報告する。
- 管理責任者は、選手の健康観察を徹底する。

(3) 待機中の予防対策

- 参加者は必ずマスクを持参し、スポーツを行っていない待機中や会話をする際はマスクを着用する。天候条件により、息苦しさを感ずるようであれば、マスクを無理に着用しない。
- 参加者は、個人間の距離（できるかぎり2m以上）を確保して待機する。
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

- ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。
- 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
- タオルの共用はしないこと。
- 選手は指定された待機場所を利用し、個人間の距離を確保して過ごす。
- 飲食は指定の場所以外で行わず、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話をなるべくせず、速やかに食事をする。
- トイレ使用時はふたを閉めて汚物を流すようにし、手洗いは石けんを用い 30 秒以上しっかり手指を洗浄すること。

(4) 試合中の感染予防対策

- 監督、コーチ、選手、運営スタッフは必ずマスクを着用する。
- 選手は、ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。
- 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
- 運動時、またそうでない時も周囲の人と距離を空けること。
- 試合中、選手は唾や痰をはくことをしない。
- 試合中、選手、監督、コーチは大きな掛け声、応援等をしないこと。

(5) 試合後の感染予防対策

- 閉会式・表彰式は実施しない。
- ミーティングは、長時間密にならないように配慮する。
- 参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。

2. 保護者等応援者の入場について

保護者等の応援者は、一般観客席とする。

入場時間については、午前 10：00 からとし、入り口ゲートで検温を済ませて入場する。

3. 運営スタッフの感染予防対策について

- 運営スタッフは、必ずマスクを持参し、着用する。
- 運営スタッフは、施設に出入りする際、手指の消毒をする。
- 運営スタッフは、集合時に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。
- 選手待機場所、待機中における予防対策
 - ① 大会主催者は、参加者へマスクを持参させ、スポーツを行っていない時や会話をする時はマスク着用を呼びかける。
 - ② 運営スタッフは、大会参加者に対し、大会中に大きな声で会話、応援等をしないよう声をかける。
 - ③ 運営スタッフは、大会参加者に対し、飲食時は指定の場所以外で行わず、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話を控えめにして速やかに食事するよう声をかける。
 - ④ 運営スタッフは、複数の参加者が触れる箇所（ドアノブ、トイレ、洗面所のレバー、手すりなど）は、定期的にアルコール等で消毒する。
- 試合中の感染予防対策
 - ① 運営スタッフは、運営業務に当たるとき必ずマスクを着用する。
 - ② 運営スタッフは、試合の前後だけでなく試合中も、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
 - ③ 運営スタッフは、試合中、業務上必要な時以外は、大きな声で会話をしないこと。
 - ④ 運営スタッフは、大会参加者や観客が、密な状態とならないよう声をかける。